

長野県内の中央新幹線建設工事における工事用車両の通行に際しては、地域の皆様の安全確保のため、施工会社とともに以下の取組みを行っています。

2024年度は県内において工事用車両が起因の交通事故は4件（人身事故1件、物損事故3件）発生しています（9月30日時点）が、引き続きこれらの取組みを通じ事故防止に努めてまいります。

車両管理

工事用車両には、中央新幹線建設工事に関する車両であることを示す標識を分かりやすい位置に掲げています。安全運転には十分注意いたしますが、地域にお住いの方々が工事用車両の運行でお気づきの点があれば、当社までご連絡いただきすみやかに対応できるようにしています。

発生土運搬用のダンプトラック等には、GPSを用いた安全運行管理システムを導入しており、速度を超過したり、指定経路以外を走行したりすることを防止するとともに、音声案内により要注意箇所を警告し、運転者の安全意識を向上させるといった取組みも行っています。



工事用車両の明示



安全運行管理システム（イメージ）

安全教育

運転手に対し定期的な安全教育を実施し、交通法規を厳守した安全運転を徹底しています。教育にあたっては、運行ルートや法定速度・学校・見通しの悪い箇所などの注意箇所を明示した注意箇所マップを用いています。

日々の運行開始前の朝礼等にて運転手の顔色・声などによる体調確認やアルコール検知器等による酒気帯びの有無の確認を行うこととしています。



注意箇所マップ

道路改良

地域の皆様のご要望等を踏まえ、工事用車両が通行する道路の新設・拡幅や路盤の改良、トンネルの新設等を行っています。これらは工事終了後も地域の皆様にご活用いただくことを想定して整備しています。



主要地方道松川インター大鹿線
東山トンネル新設



県道北林飯島線拡幅



町道洞新線新設・拡幅

歩行者の安全確保

各自治体と「工事用車両通行等に関する確認書」を締結しており、必要な箇所に交通誘導員を配置するなど安全対策を行うとともに、小学校や保育園等を避けた迂回路を新たに設置することにより、工事用車両通行による影響の低減に努めるなど、安全や環境にも配慮しています。

また、歩行者の方の安全確保のために、通学時間帯などの特定の時間帯の通行を避けることや、交通誘導員の配置、安全設備の設置、安全な歩行ルートの確保などの対策についても、地域の皆様のご意見を踏まえ必要に応じて取り組んでいます。



車止めポストの設置



区画線の引直し、
カーブミラー盤交換



カーブミラー新設



歩行者迂回路の環境整備
(防犯灯増設、立木伐採)



見通し不良区間の立木伐採

その他

その他安全を確保する取組みとして、自治体や警察等と連携し、小学校における交通安全教室を開催しています。

飯田ケーブルテレビの当社提供番組「教えて！リニアのリアル～地域の日常を守れ！発生土運搬の安全対策～」にて、安全対策を紹介しました。（当社YouTubeチャンネル（<https://youtu.be/WUrIFJD31oI>）にてご覧いただけます）



交通安全教室（2024年4月中川村）



交通安全教室（2024年6月松川町）

【連絡先】

中央新幹線長野工事事務所（0265-38-6500）